

イベント 3.25

開館5周年記念フォーラム

創造のテーブル2017

大阪と創造の対話

[トップ](#) >> [イベント](#) >> [創造のテーブル2017](#)



大阪府立江之子島文化芸術創造センターenocoは2012年に開館し、この4月で5周年を迎えます。この間、文化芸術と都市、そして民と官をつなぐ役割を様々なクリエイターに担っていただき、大阪という都市の魅力を高める数々のプロジェクトを実践してきました。この節目を期に、これまでの5年間を振り返り、次の5年に向かってenocoが取り組むべき課題、そして大阪が目指す文化のありようを巡って議論します。

題して「創造のテーブル」。

第一線で活躍されるキーパーソン8人による4つの対談と、全員によるディスカッション。

それぞれのユニークな実践を通じ、関西の視点に外からの視点をクロスさせることで、

大阪の文化的状況を相対化して捉え、その課題と可能性について対話を交わすテーブルを用意しました。

関心のあるテーブルだけの参加も歓迎です。

この創造のテーブルを、あなたもぜひ囲んでください。

開催概要

日時：2017年3月25日（土）

13:00～19:00 終了予定（受付開始12:45）

会場：大阪府立江之子島文化芸術創造センター 4階ルーム1

参加無料（当日先着順受付・定員80名）

主催：大阪府立江之子島文化芸術創造センター（enoco）

プログラム

12:45 開場・受付開始
|
13:00 ごあいさつ
|
13:10 <table1>パフォーミングアーツ | 大谷 煥 × 大澤 苑美
|
14:10 <table2>デザイン | 服部 滋樹 × 西村 佳哲
|
15:10 <table3>アート | 寺浦 薫 × 西野 達
|
16:10 <table4>アーバンデザイン | 泉 英明 × 岩瀬 諒子
|
17:30 <whole table>パネルディスカッション
| パネリスト：全員 + enoco 甲賀 雅章 ・ 忽那 裕樹
|
19:00 終了予定

各テーブルの間の入退室は自由

● 終了後、同会場にてパーティー開催
参加費500円（ワンドリンク付、当日会場にて受付）

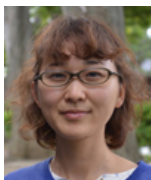
パネリスト プロフィール



大谷 煥（おおたに・いく）

DANCE BOX エグゼクティブディレクター

大阪生まれ。1996年に大阪でDANCE BOXを立ち上げ、多数のコンテンポラリーダンスの公演、ワークショップをプロデュース。2009年4月、神戸・新長田に拠点を移し、劇場「ArtTheater dB 神戸」をオープン。新進の振付家・ダンサー・制作者を育成する「国内ダンス留学@神戸」や、「KOBE-Asia Contemporary Dance Festival」など国際交流事業のほか、アートによるまちづくり事業も多数行う。2015年KOBE ART AWARD受賞。神戸大学、近畿大学非常勤講師。



大澤 苑美（おおさわ・そのみ）

八戸市 芸術環境創造専門員

2008年～2011年一般財団法人地域創造に勤務し、ダンス事業を担当。2011年より現職。コンテンポラリーダンスを軸に、地域の資源や人を巻き込んで行う「南郷アートプロジェクト」、工場とアートを組み合わせて魅力の発信をする「八戸工場大学」などのアートプロジェクトの企画運営を担当するほか、八戸市新美術館の建設準備等、八戸市の文化行政に携わる。



服部 滋樹（はっとり・しげき）

graf代表／クリエイティブディレクター／デザイナー

1970年大阪生まれ。美大で彫刻を学んだ後、インテリアショップ、デザイン会社勤務を経て、1998年にインテリアショップで出会った友人たちとgrafを立ち上げる。建築、インテリアなどに関わるデザインや、ブランディングディレクションなどを手がけ、近年では地域再生などの社会活動にもその能力を発揮している。京都造形芸術大学芸術学部情報デザイン学科教授。

photo：川瀬一絵



西村 佳哲（にしむら・よしあき）

リビングワールド代表／プランニング・ディレクター／神山つなぐ公社理事

1964年東京生まれ。武蔵野美術大学卒業。つくる・書く・教える、三種類の仕事。建築分野を経て、ウェブサイトやミュージアム展示物、公共空間のメディアづくりなど、各種デザインプロジェクトの企画・制作ディレクションを重ねる。近年は小さな会社や組織、地域の相談役的な仕事が増えている。京都工芸繊維大学非常勤講師。



寺浦 薫（てらうら・かおる）

大阪府都市魅力創造局文化・スポーツ課 主任研究員

大阪生まれ。1994年に大阪府に入庁し、文化施策の立案、府立現代美術センター企画運営、府立江之子島文化芸術創造センターの立ち上げ等に携わる。「大阪・アート・カレイドスコープ」、ヨーロッパとの芸術家交流事業「ART-EX」、「水都大阪2009」、「おおさかカンヴァス推進事業」「プラットフォーム形成支援事業」等を主担。



西野 達（にしの・たつ）

現代アーティスト

1960年愛知県生まれ。武蔵野美術大学修了後、1987年にドイツに渡る。屋外のモニュメントや街灯などを取り込んで部屋を建築しリビングルームや実際にホテルとして営業するなど、都市を舞台とした人々を巻き込む大掛かりなインスタレーションを主に行う。作品に2011年の「シンガポールビエンナーレ」でのマーライオンを取り込んだホテル「The Merlion Hotel」など。近年は「おおさかカンヴァス」など国内での発表も増えている。東京都ベルリン在住。

photo : Majja Toivanen



泉 英明（いずみ・ひであき）

都市プランナー／ハートビートプラン代表

1971年東京生まれ。都市計画プランニング、震災復興事業、中心市街地再生事業など、10年の修行を経てハートビートプラン設立。高松、下関、豊田のまちなか再生やプレイスメイキング、モノづくりのまち高井田住工共生まちづくり、着地型観光事業「OSAKA旅めがね」、水辺公共空間のリノベーション「北浜テラス」、水辺の新たな価値を創造する「水都大阪」などに関わる。



岩瀬 諒子（いわせ・りょうこ）

建築家

新潟生まれ。京都大学工学部卒・同大学院修了。隈研吾建築都市設計事務所を経て、2013年、大阪府主催実施コンペ「木津川遊歩空間アイディアデザインコンペ」における最優秀賞受賞を機に、岩瀬諒子設計事務所を設立。建築空間からパブリックスペースまで、領域にとらわれない設計活動を行う。東京藝術大学美術学部建築科教育研究助手。京都大学工学部非常勤講師。

■ enoco



甲賀 雅章（こうが・まさあき）

enoco館長／大道芸ワールドカップIN静岡プロデューサー

1951年静岡市生まれ。1991年株式会社シーアイセンターを設立。広義の意味でのデザイン、文化戦略を21世紀型経営の最重要資源として位置づけ、企業、組合、商店街、地方自治体等の活性化におけるコンサルティング活動を展開。1992年から大道芸ワールドカップIN静岡を立ち上げプロデューサーを務める。2009年地域・社会の問題をデザイン思考で解決すべく、ソーシャルデザイン研究所を設立、2012年からenocoの館長を務めている。



忍那 裕樹（くつな・ひろき）

enocoプラットフォーム部門チーフディレクター／E-DESIGN代表

1966年大阪生まれ。庭園をはじめ公園や広場、大学キャンパス、商業・集合住宅・病院などのランドスケープのデザインとプログラムを国内外で展開。また、パークマネージメント、タウンマネージメントを通して、地域の改善や魅力向上に様々な立場で関わっている。民主導の水と光のまちづくり推進組織「水都大阪パートナーズ」のプロデューサーとして数々の事業の企画・運営を推進中。

サイトポリシー・ プライバシーポリシー	> enocoについて	> お知らせ・プレスリリース	Like 175	
指定管理者	> 事業紹介	> メルマガ登録	ツイート	
バナー広告募集	> フロアガイド	> ニュースレター		
	> レンタルスペース	> お問い合わせ		
		> アクセス		